

谷まさやす

【 令和6年 新春号 】

加古川市政レポート

～ 魅力あるまちづくり ～



発行所：加古川市野口町長砂
161-23
TEL：079-437-7551

発行者：神鋼労組加古川支部
発行日：令和6年1月1日

新しい年が始まりました。新型コロナが感染症法上での5類に移行により、生活環境もコロナ前の状態まで戻りつつあります。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻により、エネルギー、素材、食材などの価格高騰を招き、私たちの日常生活も大きく影響を受けています。

本年も感染症対策や、ICTの活用による利便性の高い行政サービスを市民の皆様にご実感いただけるよう、スマートシティの取組みを進める中、「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち」の実現に向け、全力を尽くしてまいります。



●令和6年度予算編成に向け提言書を提出

私達が所属する「かこがわ市民クラブ」は、市民の方々から寄せられた意見や要望を基に、令和6年度の政策・予算に反映されるよう **71項目** を重要政策提言書にまとめ、岡田市長へ提出し意見交換致しました。

【重要政策提言の主な項目】



(市長に対し会派政策提言)

◆加古川駅周辺の活性化について (河川敷と駅を繋ぐ導線と一体で、継続的にぎわい創出等)
◆町内会の高齢化対策について (高齢化による様々な活動が困難になっている町内会への対応検討等)
◆体育授業におけるニュースポーツの拡充について (フラッグフットボールなどのニュースポーツの積極的導入)
◆地球温暖化防止と脱炭素社会への対応について (エコキュート設置補助や公共施設に充電ステーションの設置等)
◆公共交通政策の拡充による交通不便地域の解消について (デマンド型乗合タクシー導入・拡充等)

●令和5年度 第5回市議会定例会が開催されました (11月30日～12月18日)

令和5年第5回市議会定例会が開催されました。一般会計補正予算では約40億円の増額補正や、条例改正、契約案件について審議を行い、全議案可決しました。

＜一部抜粋＞

【脱炭素社会推進基金の新設、積立事業】

2050年の温室効果ガス実質排出量ゼロを目指しています。このため、2030年度までに約48%削減(2013年度比)を目標とし、長期的な取組みへ10億円を積み立て施策の財源を確保します。

一般家庭では省エネ設備(エコ給湯器)の導入や既存住宅の断熱改修、太陽光発電設備の設置への補助等を検討しています。

【農業振興事業】

肥料価格の高騰等に直面している農家の生産コストの低減などに繋がるスマート農業の取組みを応援します。* 機器の購入費補助や人材雇用補助等。

【住民税非課税世帯に対する臨時特別給付事業】

物価高騰に最も切実に苦しんでおられる低所得者世帯(住民税非課税世帯)に対し、1世帯当たり7万円給付します。※対象世帯は約3万世帯

目標実現に向けたロードマップ



